

建設経済常任委員会（9月25日）

開会（8：55）

○鈴木（浩）委員長 ただいまより建設経済常任委員会を開会する。

当委員会に付託された議案は11件である。審査順序はお手元に配付の審査順表のとおり、水産部、経済産業部、都市政策部、建設部、水道部、環境部として進めたいと思うが、御異議はないか。（異議なし）

閉会（8：56）

開会（11：41）

○鈴木（浩）委員長 会議を再開する。

経済産業部所管の議案の審査に入る。

認第21号「平成28年度焼津市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○杉崎委員 今、湧出量で日量約500トンぐらいということになっているんだけど、前々からみんな懸念している、だんだん量が減るんじゃないかとか、パイプの老朽化の関係もありまして、今、市としてこれぐらい出りゃいいなという数字、何か持っているものあるんですかね。供給量というか、もっと求めているものがあるかどうかというのを関連して教えてください。

○伊藤観光振興課長 今、給湯施設、8施設に供給しているところでございますが、昨年の日量当たり使用量でございますけれども、222トンでございます。

委員おっしゃるように500トンぐらい、1日500トン当たりということでございますが、非常に余裕があるようにございますけれども、実は、この使用量と供給している、いわゆる給湯先から出る、蛇口から出るものとはまたこれは別のものございまして、取水していないときは当然流してしまっているんです。ですので、この222トンと、使用量で、500トンあっても、今ちょうどバランスがとれているというような状況でございます。

これで、もし、例えば、1つ施設がふえてそこが給湯したいというような申し出があっても、多分、取り合いになるというか、どこかを量少なくしてというような形になると思いますので、今のところ非常にバランスがとれているということでございます。

市としましては、量が多いにこしたことはないものですから、そういう希望はあるんですけども、なかなか自然相手のことでございますので、余裕があるときは非常に出ていますけれども、余裕がなくなったときはきつきつになってしまうというような日もございます。ただ、今のところ安定しているというのが実情でございます。

以上です。

○杉崎委員 ちょうど安定していると、それじゃ、余分なことに金を使うことはないもん

で、設備はこのままで何とかいいかなという解釈で今のところはいいのかなと。

- 伊藤観光振興課長 機械の話でございますので、日々やっぱり劣化してございます。源泉が、実は井戸のところで昔天然ガスを採取したその副産物として出ているものですから、今、ガスの会社のほうはその出てきたガスは使用していないんですけれども、相変わらず温泉をくみ上げているのはガスの施設でございまして、それがもう数十年たっただけで、それも非常に劣化が激しくて、日々メンテナンスと申しますか、ガス会社のほうに委託しまして、その施設のほうを見ていただいている状況でございます。

ですので、このまま施設が、今、安定しているからそのままというわけには今後もないかなとは思っています。ですので、日々、洗浄あるいは点検等を繰り返しながら維持しているところでございます。

以上です。

- 鈴木（功）副委員長 少し、今の話、確認したいんですけど、温泉の井戸としては日量500トンの井戸があると。しかし、設備の関係で日量222トンにとどまっているという考えでいいんですか。それで、設備を新しくすれば日量500トン出せる温泉の井戸はあるという考え方で、違うんですか。ちょっとお聞きしたいです。
- 伊藤観光振興課長 出ているのは500トンです。先ほどの200トンと言ったのは使用している量ですね。ですので、我々もそうですけど、水道の蛇口を開かないと水道の水は使ったことにならないんですけれども、500トン出ている、やっぱり使用先で使わなければ、そのまま残りは廃棄になっちゃうと申しますか、ずっと出ているものですから、使っているときだけ出しているわけじゃないものですから、そういうことです。
- 鈴木（浩）委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、認第21号「平成28年度焼津市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について」は全会一致、認定すべきものと決定

- 鈴木（浩）委員長 議第45号「平成29年度焼津市一般会計補正予算（第2号）案」中、経済産業部所管部分についてを議題とし、当局の説明を求める。
(当局説明)

- 鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。
- 杉崎委員 12ページ、空き店舗の話なんですけど、申請者が増加しているよと。今後もこういうふうにならぬかと予想していますか。
- 織原商業・産業政策課長 先ほど説明しましたが、内容としましては、先ほど言いましたように家賃補助と改修補助がございまして、

家賃の補助につきましては、当初予算、一応2件ということで見積もっていたんですが、実際、現在、問い合わせ等を含めまして、これから先も含めてですけど、8件ほど予想されておりますので、合計10件にしたいということでございます。

あと、改修費につきましては、当初一応1件ということで見込んでおりましたが、現在、その他、今後を含めましてやはり5件ほど問い合わせがあるので、合計6件という

ことで、現在、問い合わせがあるものと、将来この先、今年度中には大体補助できるものを含めて補正をさせていただいております。

以上でございます。

○鈴木（浩）委員長 いいですか。事業のARTあんえっとなんという事業のちょっと御説明をちらっと。

○織原商業・産業政策課長 ARTあんえっとなんにつきましては、市内にいらっしゃいますが、いわゆる芸術家とか、絵を描いたりイラストを描いたりする方が、商店街の各店の中にそういったものを飾っていただいて、お店にそれを見に来ていただきながら一緒に商店街の活性化を図ろうという事業でございます、ことしで3回目になります。

その前から、毎年秋にやっておりますが、そういった事業で市内の芸術家さんとかが絵とかアートとかを店に飾ると、あと、11月の日曜日12日に、その日につきましてはちょっとイベント的にそういった方々が似顔絵を描いてくれたりとか、そういったことをしながらやるというの、それがARTあんえっとなんという事業になります。

ハロウィンにつきましては、10月22日に昭和通りと神武通りを中心に、お子さん中心ですけど、仮装をしていただいてパレードをしていただいて、昭和通りと神武通りに集まっていたらこうという事業になっております。

こちらの事業が、先ほど説明しましたが、財団法人の自治総合センターのほうの補助対象ということになりましたので、一般財源で補助するつもりでしたけど、そちらの費用を使いまして歳入を確保して、また歳出のほうへそちらのほうを入れたということで、そちらの財源振りかえを行っているところでございます。

以上でございます。

○鈴木（浩）委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、議第45号「平成29年度焼津市一般会計補正予算（第2号）案」中、経済産業部所管部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○鈴木（浩）委員長 以上で経済産業部所管の議案の審査は終了した。

閉会（12：00）

開会（14：03）

○鈴木（浩）委員長 会議を再開する。

都市政策部所管の議案の審査に入る。

議第45号「平成29年度焼津市一般会計補正予算（第2号）案」中、都市政策部所管部分を議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○杉崎委員 補正予算のほうの12ページ、一番上の企画費の中で、スマートインターチェンジ周辺の戦略的土地利用という関係なんですけれども、補正予算で上がってきた、今中身を聞いたら、交通量とか交差点のこういう調査に関する委託料ということなんです

けれども、補正に係るほど緊急性があったのかどうかということをやっと聞きたいのと、ここの戦略的土地利用というところは、そういう、あの道路の道を、幅を広げるとか、交差点の改善をすとか、そういうことも具体的にあったためにこれをやったのかどうかということをやっと教えてください。

- 篠宮都市デザイン課長 まず、最初に、交通量調査あるいは交差点解析等の事業に緊急性があったのかということをございます。

現在、この地区につきましては、A調査ということで、事前調査をしております。県、警察、公安委員会と事前協議をする中で、今後都市的な土地利用を図る際には、それぞれの交差点の交通量あるいは交差点に対する解析等を協議の中で行う必要があるということから今回、9月補正に要求をさせていただいたということをございます。

それから、面的な計画予定をこれからするところをございますので、当然、交差点の拡幅あるいは滞留長の延長だとか、そういった道路の見直しも含めて戦略的な事業の推進というところの位置づけをございます。

この事業そのものについては、市長が答弁されているように、地方創生、人口定住あるいは雇用の創出、そういった事業とダイヤモンド構想、都市計画マスタープランの拠点の位置づけ、そういったところから事業着手しているところをございます。

以上をございます。

- 杉崎委員 苦言じゃなくて、それくらいのことなら補正予算を組まなくても年度初めに出てきてもよさそうかなと思ったものだから。

といいますのは、あの道路ができてすぐもう道幅、スマートインターチェンジから出て大型車が、特に左折の場合は曲がりにくいということがあって、立てたセンターラインのポールが倒され、今2本ばかり外して広がっている。今度は150号線のところへ出てくるときの右折車両の問題、直進車両の問題で、右折車両がたまってしまうと、その先の車もなかなかもう車線の変更ができないものだから、特に朝とか夕方、そういう渋滞的なことが起こったりということがあまるものですから、予想できたことが改善されていないとなると、ここでこういう予算を組むよりもっと前から道路のことに関しては検討していかなくちゃいけなかったのかなとなるものだから、今後、またこういうことがあるときには早目早目の先手を打っていただければと思います。

- 篠宮都市デザイン課長 今、委員が御指摘いただきましたのは、恐らくスマートインターの取り合い道路の件かと思いますが、今回、交通量調査、交差点の解析は、そこらも含めて、その周辺も公安委員会の協議の中で、現状の交差点にどれくらいの移動させる能力があるのかとか、そういった指摘、意見等がありまして、そこに限らず、広くその周辺を、交通量調査を行うものをございます。

- 鈴木（浩）委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、議第45号「平成29年度焼津市一般会計補正予算（第2号）案」中、都市政策部所管部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

- 鈴木（浩）委員長 以上で都市政策部所管の議案の審査は終了した。

閉会（14：17）

○鈴木（浩）委員長 会議を再開する。

建設部所管の議案の審査に入る。

認第22号「平成28年度焼津市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○杉崎委員 小さいことで聞きます。

352ページの駐車場会計雑入なんですけれども、金額が倍増、自販機の売り上げが伸びているけど、自販機の台数がふえたのか大きい自販機に変わったのか、それとも、情勢的にこういうふうになったのかという、くだらないところなんですけど、ちょっと教えてください。

○見原道路課長 自動販売機の大きさは変わっていないと思いますので、売上金が伸びたということで考えております。

以上でございます。

○杉崎委員 場所的に、駅前のところだと結構利用している方にとったら使いやすい自販機なものですから、ちょっとものとか視点を変えたり何かすると、これはもうかるためにやっちゃいかんけれども、いい効果があるかなと、そんなふうに思いましたので。

○鈴木（浩）委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、認第22号「平成28年度焼津市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について」は全会一致、認定すべきものと決定

○鈴木（浩）委員長 認第25号「平成28年度焼津市港湾事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。（なし）

質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、認第25号「平成28年度焼津市港湾事業特別会計歳入歳出決算認定について」は全会一致、認定すべきものと決定

○鈴木（浩）委員長 議第45号「平成29年度焼津市一般会計補正予算（第2号）案」中、建設部所管部分を議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。（なし）
質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、議第45号「平成29年度焼津市一般会計補正予算（第2号）案」中、建設部所管部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○鈴木（浩）委員長 議第48号「平成29年度焼津市港湾事業特別会計補正予算（第1号）案」を議題とし、当局の説明を求める。
（当局説明）

○鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○杉崎委員 素朴な質問です。

36ページ、港湾事業債の交付金の確定というので市債が減額になって、上の国庫金のほうも減額になっていると。38ページの支出のほうで海岸保全費が2億500万円、これも確定によりという説明だったんですけど、交付金のほうの確定が先なのか、工事をやろうと思っていた計画が縮小したためにそこまで不要になったのかというところをお願いします。

○池谷大井川港管理事務所長 交付金のほうは計画どおり要望は、予算要求はしているんですけども、なかなか交付決定はそれについてこないというような感じでございます。
よろしいでしょうか。

○杉崎委員 それが入れば、予定していた事業ができるという。

○池谷大井川港管理事務所長 そうです。

○鈴木（浩）委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、議第48号「平成29年度焼津市港湾事業特別会計補正予算（第1号）案」中、建設部所管部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○鈴木（浩）委員長 議第53号「焼津市道路線の廃止について」及び議第54号「焼津市道路線の認定について」は関連があるので一括議題としたいが、御異議はないか。（異議なし）

それでは、一括議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○鈴木（浩）委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○鈴木（功）副委員長 1つ伺いたいですけど、廃止のところですけど、参考資料21ページになるんですけど、こういったところ、もうできちゃっているのと、廃止するのは仕方がないことなんですけど、それによってこの150号線のバイパスのところだとその下をくぐって通っていくようになるわけですけど、そうすると、当然バイパスの下なので、場所によっては鋭角に曲がったり、中が暗かったり、非常に見通しが悪いと、そういったところで、当然地元の人たちには説明をされてきたと思うんですけど、カーブミ

ラーをつけてほしいとか、そういった要望というのは今までなかったでしょうか。

○見原道路課長 150号の整備に当たりまして、これ、県の島田土木で施工しております。

今、委員がおっしゃったようなカーブミラーをつけてというような地元要望については、市のほうには入っておりません。済みませんが、ちょっとそれについては、ちょっと確認しておりませんので、また県のほうに確認してみたいと思います。

以上でございます。

○鈴木（功）副委員長 まだ要望が出ていないのかとかわからないですけど、私のところには、農繁期のときに軽トラが走ったり、農業用の車両も入ったりするときに非常に見通しが悪くて心配だという声があるものですから、また、地元の皆さんとちょっと話を聞いて、場合によっては要望を出すことになるかと思えますけれども、そのときはよろしくお願いします。

以上です。

○鈴木（浩）委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。（なし）

◇採決の結果、議第53号「焼津市道路線の廃止について」は全会一致、可決すべきものと決定

◇採決の結果、議第54号「焼津市道路線の認定について」は全会一致、可決すべきものと決定

○鈴木（浩）委員長 以上で建設部所管の議案の審査は終了した。

これで本日の審査を終了とする。

閉会（16：05）